

IDDNewsletter.....10

October
2024



特集

トレジャーハンティング進行中！

修了生の生み出した過去の作品たち、使われなくなったモチーフ、古いPCモニターなどなど…専攻科棟にはお宝がいっぱい眠っています。大量の画材や粘土もその一つ。このまま眠らせておくなんてもったいない！隠された「お宝」を再生し、授業で活用する試みをご紹介します。

トレジャーハンティング進行中！

修了生の生み出した過去の作品たち、使われなくなったモチーフ、古いPCモニターなどなど…専攻科棟にはお宝がいっぱい眠っています。大量の画材や粘土もその一つ。このまま眠らせておくなんてもったいない！隠された「お宝」を再生し、授業で活用する試みをご紹介します。

これはまったくもって個人の見解なのだが『ゴミの山ほどワクワクするものはない』と常々思っている。雑然とした中古屋の奥底で眠っていた「過去の誰かが大切にしていたもの」の姿を見つけると、その顔も知らない誰かと時代を超えて通じ合い、先達との会話をしているような、そんな気持ちになるのだ。ここ専攻科棟はまさに過去との出会いの場である。古い時代の立て看板やポスター、最近の修了生や在校生の作品、すべてが混然一体となって存在している。一見すると不用品の山だが、具に観察していくと作品制作に関わるいろいろなヒントが隠されている。誰もが無価値と結論付けていたものに別の価値を見出すことが単純に楽しかったりもする。遺棄され、存在を忘れられたものたちが自分の手で再生され美しく蘇る、この楽しさを学生たちにも味わってほしい。



専攻科棟のところどころに見られる陶芸作品と大量の陶芸用具。多くの学生たちが熱心に取り組んでいたであろうことが伺える。ということは、どこかに未使用の粘土が隠されているのではないだろうか。

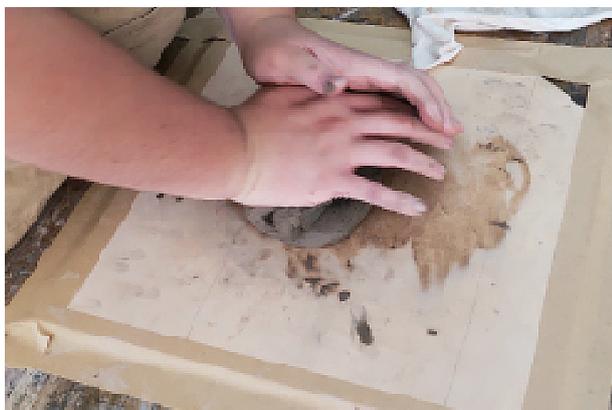
今回発見したお宝はこちらの大量に保管されていた粘土。用途はよくわからない。彫刻用なのか陶芸用なのか。原材料が土なのは確かである。色は2種類。水分が完全に抜けてすっかり固まってしまい、見た目はレンガ。発見後はとりあえず棚板の支えとして活用していたが、本来の用途で陽の目を浴びることとなったため本物のレンガと交代していただく。



固い…水に沈めてもなかなか吸水されない…本当に粘土なのだろうかと不安が過るが2日ほど経過してようやく粘土の様相に。しかしながら今回の造形デザインの授業の課題は「模刻」である。造形に適した状態にするにはもうひと手間加えて均一に滑らかにしたいところ。そこで、眠っていた土練機（どれんぎ）を引っ張り出してみる。使った形跡がない。もしかしたら今回が初使用なのかもしれない。実は自分も土練機と対面するのは初めてである。緊張しながらスイッチを入れる。水分が足りずさっそく詰まらせてしまった。四苦八苦しながらもなんとか作業を進める。



どうやら水分が多すぎたらしい。ここからは学生と交代して手で練って調整していくことにする。粘土中の空気を抜き、密度を高めていく。徐々に扱いやすくなっていく素材の変化の過程を感じられる、塑造の醍醐味である。



学生たちによれば「粘土に触るのは小学生以来」とのこと。かく言う自分も陶芸以外で粘土に触れるのは久々である。塑造は彫塑と違い何度でもやり直しがきく。推敲を重ね、気に入らなければ初めからやり直すことも容易なのだ。今回は一題材につき二時間という制約があるが、自らの手で素材に触れた時間の分だけ経験が蓄積されていくのが見て取れた。「これ持ってみてください！石みたいですよ！」艶のある土塊を差し出され受け取ると、なるほど、ズッシリとした質量を感じる。自分の練りが甘かったことを思い知らされた。



今回、造形デザインの授業では身近な野菜や果物をモチーフとして設定した。後半になると、学生たちからは「人参なら作りやすいかもしれない」「粘土が手に馴染んできた」という声が聞こえた。与えられた課題を自分なりに咀嚼し、造形のヒントを主体的に考えるきっかけとなったのではないだろうか。



今回は専攻科棟の先人たちが残してくれた「粘土」を活用した授業の様子をご紹介しました。ひょっとすると、皆さんの身近にも意外な宝物が眠っているかもしれません。このワクワクは一度味わうとクセになりますよ。専攻科のトレジャーハンティングはまだまだ続きます！

IDDN

Contents

特集

トレジャーハンティング進行中！

2-3

修了生の生み出した過去の作品たち、使われなくなったモチーフ、古いPCモニターなどなど…専攻科棟にはお宝がいっぱい眠っています。大量の画材や粘土もその一つ。このまま眠らせておくなんてもったいない！隠された「お宝」を再生し、授業で活用する試みをご紹介します。

Welcome to Information Design Department !!

北海道高等聾学校専攻科情報デザイン科「学科だより」をお読みいただきありがとうございます。

本校情報デザイン科では広く全国から学生を受け入れています。聴覚障がいがあり、高等学校や中等教育学校等の修了生（卒業見込みを含む）であれば、どなたでも出願資格があります。年齢も不問です。

授業料がかからないことに加え、低コストで、専門的な知識や技術を学べます。支援制度については、就学奨励費等の帰省や通学、食事等に関わるものがあります。また、寄宿舎があり、道内外問わず入舎が可能ですし、土日祝日も開舎していますので遠方からの入舎も安心です。本校情報デザイン科に興味がある方は、ぜひ本校まで御連絡いただければと存じます。詳しくは、本校 Web サイトの情報デザイン科のページを御覧ください。

○専攻科情報デザイン科への入学説明と個別懇談について

次年度の入学説明や個別懇談等を御希望される方がいらっしゃいましたら、都度対応させていただきます。専攻科入学選考事務局に御連絡ください。（担当：堀、桑原）



情報デザイン科学科だより

Information Design Department

IDDNewsletter

October 2024

IDDNewsletter October 2024

発行人／北海道高等聾学校専攻科情報デザイン科「学科だより」編集チーム

発行／北海道高等聾学校

〒041-0261 北海道小樽市銭函1丁目5-1

www.koutourou.hokkaido-c.ed.jp

※ご意見、ご要望などにつきましては、上記 Web ページより電子メールでご連絡ください。